

2013年3月29日更新

注意事項

- ・以下掲載しております構成以外はサポートしておりません。
- ・増設LANボードについてはサポートしておりません。
- ・注釈については、巻末を参照下さい。

○動作確認済み、×動作未対応、△評価予定、▲評価中、- 対象外

装置 *1	ハードディスク コントローラ	バックアップ *2	BIOS/FWの アップデート *3	対応Ver.	機種対応モジュール
E120d-1 *5 N8100-1913Y,1914Y, 1915Y,1910Y, 1911Y,1912Y, 1922Y,1923Y, 1924Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_017) DPM5.2(DPM51_52_017) *4
	N8102-149	○	×		
	N8102-150	○	×		
	N8102-151	○	×		
	N8103-152	○	×		
UP E120d-M *5 N8100-1898Y, 1899Y,1900Y, 1901Y,1902Y, 1903Y,1904Y, 1905Y,1906Y, 1907Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_017) DPM5.2(DPM51_52_017) *4
	N8103-149	○	×		
	N8103-150	○	×		
	N8103-151	○	×		
	N8103-153	×	×		
	N8103-154	×	×		
UP E110d-M *5 N8100-1946Y, 1947Y,1965Y, 1966Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_017) DPM5.2(DPM51_52_017) *4
	N8103-149	○	×		
	N8103-150	○	×		
	N8103-151	○	×		
	N8103-153	×	×		
	N8103-154	×	×		
E110d-1 *5 N8100-1776Y 1775Y,1861Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM51(DPM51_52_014) DPM52(DPM51_52_014) *4
	N8103-129	○	×		
	N8103-130	○	×		
	N8103-128	○	×		
	N8103-134	○	×		
	内蔵SATA RAID	○	×	5.1以降	DPM51(DPM51_52_015) DPM52(DPM51_52_015) *4 *10
E120b-1 N8100-1627Y, 1682Y,1685Y, 1689Y,1746Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_011) DPM5.2(DPM51_52_011) *4
	N8103-128	○	×		
	N8103-129	○	×		
	N8103-130	○	×		
	N8103-134	○	×		DPM5.1(DPM51_52_011) DPM5.2(DPM51_52_011) *4
	内蔵SATA RAID	○	×	5.1以降	
	N8190-153	○	×		DPM5.1(DPM51_52_013b) DPM5.2(DPM51_52_013b)
	N8190-154	○	×	5.1以降	

対応装置一覧 ECO CENTER(バックアップ/リストア)[2/2]

装置 *1	ハードディスク コントローラ	バックアップ *2	BIOS/FWの アップデート *3	対応Ver.	機種対応モジュール
E120b-M *5 NE1200-001Y, 002Y,003Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_009b) DPM5.2(DPM51_52_009b) *4
E120a *5 NE1100-001Y, 002Y	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_009b) DPM5.2(DPM51_52_009b) *4
サーバモジュール *5 NE1000-001, 002	内蔵SATA	○	×	5.1以降	DPM5.1(DPM51_52_004b) DPM5.2(DPM51_52_004b)
	内蔵SATA RAID	×	×		*4

注釈説明

- *1: Wake On LAN が動作しない場合があります。動作しない場合は、手動で電源を ON してください。
- *2: バックアップ関連機能として、リストア・ディスク構成チェック・ディスク複製 OS インストールも含まれます。
- *3: 各装置用の BIOS、ファームウェア等のフロッピーディスクイメージで提供されているアップデートイメージをネットワーク経由で配信し、アップデートを行います。
BIOS/FW のアップデートで配信したフロッピーディスクイメージが正常に動作するかどうかは BIOS/FW のアップデートツールの動作に依存します。
そのため、クライアント上で処理を自動で進めるには、アップデートイメージ内のアップデートツールが以下に対応している必要があります。
 - ・アップデートツールがユーザの操作なしで実行可能であること
 - ・DOS が起動後、アップデートツールが自動実行されること
 - ・アップデートツール実行完了後、自動的にリブートすることただし、アップデートツールのつくりによっては正常に動作できない場合があるため、必ず事前評価を行い、問題がないか確認してください。
- *4: ご利用バージョンに対応するモジュールをダウンロードし、モジュール同梱の手順書にしたがって適用してください。
DeploymentManager Ver4.3 は“SigmaSystemCenter 1.3”に含まれるバージョンです。
また、DeploymentManager Ver5.2 は“SigmaSystemCenter 2.1”に含まれるバージョンです。
- *5: DeploymentManager に PXE ブートで自動登録した場合、または、シナリオ実行条件の「実行後に電源を切断する」オプションを有効にしてシナリオを実行した場合に、下記のメッセージを表示して自動電源 OFF できません。
詳細は[こちら](#)を参照ください。
Failed to power down by calling APM BIOS. The system has Halted.
- *10: 内蔵 SATA RAID 対応の機種対応モジュールを適用する以前に作成されたバックアップイメージを使用する場合は、以下を参照してください。

[内蔵 SATA RAID 復旧手順書](#)